

ロシア連邦大統領 ウラジミール・プーチン 殿
在日本ロシア連邦大使 たミハイル・ユリエビッチ・ガルージン 殿

ロシアのウクライナへの軍事侵略に強く抗議し、直ちに撤退を求めます

2月24日、ロシアのプーチン大統領は隣国ウクライナへの侵攻をロシア軍に命令。その日のうちにロシア軍がウクライナ国内の軍事基地などを攻撃し、ロシア軍がウクライナ領内に進攻したと報道されている。これは主権国家へのまぎれもない軍事侵攻であり、枚方教職員組合はロシアの軍事侵略を反対し、直ちに撤退することを求めます。

ロシアはウクライナ東部の2地域を独立国とみなす措置を一方的にとり、そこからの要請としてロシア軍による侵攻を行いました。他国の一部を一時的に「独立」を認め、軍事進攻を行うことは、国連加盟国の主権、独立、領土の尊重、武力による威嚇の禁止を明記している国連憲章に反し、ロシア自身が合意したウクライナ東部問題の平和的解決のために関係国間で結ばれたミンスク合意（2014年、15年）を踏みにじるものです。

とりわけ、ロシアは核保有大国であり、攻撃に先立ちプーチン大統領が世界最大の核保有国であることを強調し、威嚇を強めています。2月19日の核弾頭搭載可能な大陸間弾道ミサイルや極超音速ミサイルを発射の軍事演習なども併せて、核の応酬へとエスカレートしかねない危険な行為であり、核兵器禁止条約が禁止した核兵器による威嚇そのものです。

世界の安全と平和のためにも断じて容認することはできません。

世界は新型コロナウイルスのパンデミックによって、命と暮らしを脅かされており、世界はこの問題に立ち向かうことこそが求められています。枚方教職員組合は、ロシアに対し軍事侵略をただちに停止し外交交渉テーブルにただちに帰ることを求めます。

同時に、アメリカやヨーロッパ各国にも危機的状況を解決するために、ロシアに対する明確な抗議と外交と対話による解決を求めます。日本政府に対しても、これを口実とした憲法改悪、アメリカと一体となった適地攻撃などの危険な道に踏み出すことなく、平和的な外交努力の先頭に立つことが求められています。

枚方教職員組合はロシアのウクライナへの軍事侵攻に強く抗議し、直ちに撤退を求めるとともに、日本、アメリカをはじめ欧米各国にも、平和的な外交努力による解決の努力を求めます。

以上

2022年2月25日

枚方教職員組合第65回臨時大会特別決議